伊藤

敏





長野県では、7月の第4日曜日を「信州山の日」と制定し、7月15日〜8月14日までを「信州山の月間」としました!

第3回駒ヶ根高原ふくしセミナー開催!!

ベニシア・

6月に開

【連載記事】

制

定

つれづれ福祉

平成 25 年度事業報告・収支決算書/人事異動/プレゼント

早5か月が過ぎました。 曽町で大規模な土砂災害が発生 夏は早くから大きな台風が日本 様に心からお見舞い申し上げま もたらしました。県内では南木 に上陸し、各地に甚大な被害を すとともに、災害に遭われた皆 ここにお悔やみ申し上げま 亡くなられた方もおられま 今年の

然的暮らしの創造」をスローガ ゆったりとした暮らし』ともに 曜日を「信州山の日」としまし ンとして掲げ、 紡ぎます~」において「信州自 当事業団でも「第2次長 長野県は7月の第4日 『信州の自然を愛し、 取り組んでいる

> 援ご協力をお願いいたします。 業団として、多くの情報を発信 していきますので、皆様のご支

協力、ご参加いただきました皆 リュット展」を開催し、 画として「信州のアー らしのすすめ」の講演、 様にお礼申し上げます。 方にご来場いただきました。ご 引き続き、 地域に開かれた事 ル・

「自然と調和したシンプルな暮

・スミスさんによる

【特集記事】

事業所リレートーク

チャレンジアクション

『西駒郷「和出楽(わでらく)」の取り組み』

『信州のアール・ブリュット展』

平成 26 年度組織概要/平成 26 年度事業計画・収支予算書

駒の根高原ふくしせま 一開催! 第3回

宮田村 駒ヶ根市

間にわたり「知的障害者の地域生活移

の助成を受け、平成23~24年度の2年

長野県社会福祉事業団は、

日本財団

行に関する地域生活実態調査・

検証事

サービス管理責任者からも「夕食や入 調査を行いました。 という回答が大半を占めるなど、ホー 用者がやる事もなく、すぐ寝てしまう_ という結果が得られたほか(図参照)、 GHで過ごすとき、 にあることが明らかとなりました。 ム利用者の暮らしの中身が乏しい傾向 いて聴き取りをしたところ、 テレビ」「ラジオ」で過ごす方が多い その調査で、 洗濯等が終われば、ほとんどの利 ホー 楽しいこと」につ ム利用者に 圧倒的に

援者が「暮らし」のイメージを共有 ら報告書をご覧いただけます。 実態調査・検証事業」については当事業団HPか 宮田村で当事者参加型のセミナーを開 発祥の地 るきっかけの場として りを応援するため、 ホーム利用者の積極的な「暮らし」 こういった状況を鑑み、事業団では 「知的障害者の地域生活移行に関する地域生活 新たな趣味や生きが 発信していくこととしました。 「西駒郷」のある駒ヶ根市・ ホーム利用者と支 地域生活移行 い作りができ 創

催日も金曜日・土曜日と平日を含めた

ことで「より参加しやすくなった」

けイベントを2日目に設定し、 事者向けイベントを1日目、

また開

なお、

第3回目となる今回から、

当

支援者向

120 98 100 80 65 59 60 43 40 19 20 8 0 テレビ 新聞雑誌 野菜作り 買い物外出 音楽ラジオ その他

【図】休日GHで過ごすとき、楽しいこと

ことです。 プトに様々なイベントを開催している 学ぶ」「交わる」「楽しむ」をコンセ このセミナーの特徴は、 「当事者参加型セミナー」として、 障がいのあ

にご参加いただくことができました。 のご意見を頂戴しました。 セミナーには2日間で延べ800人

> その他(65)の 掃除(9)、寝ている(6)、運動(5)、 カラオケ(4)、洗濯(4)… 等

N = 195

等で生活する利用者

。 以 下

「ホーム利

<u>*</u>

を実施し、

グループホーム

用者」と表記)

0)

「暮らし」について



[実行委員会構成団体]

長野県社会福祉事業団 長野県知的障がい福祉協会 長野県手をつなぐ育成会 長野県社会福祉協議会 駒ヶ根市社会福祉協議会 宮田村社会福祉協議会

重複回答あり

写真出典:駒ヶ根市観光協会ライブラリー



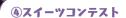
②アートフェスティバル 多くの仲間と舞台芸能を鑑賞しました。





宮田村民会館の大ホールで熱唱!ゲスト歌手のステージも大いに盛り上がりました。

ゲスト 小沢亜貴子氏 (演歌歌手・飯田市出身)



西駒郷信州まめ匠で焼いたスポンジケーキを「大切なあの人に贈る ケーキ」をテーマにデコレーションしました。

審査員長 小池晃氏(創作菓子みにぶらん(宮田村)パティシエ)

⑤ドラム教室

アフリカのリズムや音遊びを楽しみま した。会場は熱気ムンムン。終了後は 皆さんスッキリした様子でした。

講師 竹内利彦氏(アフリカン太鼓演 奏団体サブニュマ代表)ほか



6生 计花数室

テーマは「雨やどり」。大きな葉っぱを傘に見立てて 「生け花」を楽しみました。

講師 千葉清美氏 (上伊那地区にて定期教室主催)



信濃美術館の「おもしろ美術講座」として開催。紙粘土等の身近な材料でパフェの「食べ物アート」を制作しました。

講師 髙田紫帆氏(長野県信濃美術館学芸員)



宮田村の釣り堀、黒川水産で行う釣り コンテスト。釣り上げた魚は夕食交流 会のテーブルに並びました。



9夕食交流会

参加者全員で親睦を深めました。

駒ヶ根市・宮田村の観光協会・商工会にご協力いただき、くじ引き大会にも駒ヶ根市・宮田村の特産品を準備。各種コンテストの表彰式の後はカラオケもやっちゃいました!





①基調講演

「自然と調和したシンプルな暮らしのすすめ」

ベニシア・スタンリー・スミス氏

⑩オープニング

地元 宮田村の音楽集団「響(ひびき)の会」 によるオープニング。話題の「アナ雪」を含め たステージに会場が一体となりました。

宮田村にやってきました。 ベニシアさんが提唱するシンプルな暮らしとは… 超満員の聴講者からは、講演終了後もベニシアさ んへの質問が続きました。 シンプルな暮らしを実践するベニシアさんのライフスタイルは、



(12)シンポジウム 「発達障がいのある人への理解と支援」

司会/福岡寿氏(高水福祉会(飯山市)常務理事)

シンポジスト/新保文彦氏(保護者、長野県自閉症協会代表)

北原恵美氏(長野県箕輪進修高等学校 特別支援教育コー ディネーター)

小出千広(上伊那圏域障害者総合支援センターきらりあ心 理・支援員)



● アール・ブリュット作品展示

高原セミナーの特別企画として開催した「信州のアール・ ブリュット展」の作品の一部を宮田村民会館で展示しまし た。(企画展の詳細はP7「つれづれ福祉」参照)

セルブ販売コーナー

長野県セルプセンター協議会にご協力いただき、上伊那圏 域の福祉事業所がそれぞれの製品を展示・販売しました。

③第4回 信州駒天駅伝大会

西駒郷周辺の周回コース(1.5km)を使用し、 6kmを4人から8人でタスキを繋ぎました。 沿道には多くの応援団も駆け付け、チーム内 外の選手・スタッフ・応援団が交流を深めま した。

(4)閉会式

たけます

セミナーにはどなたでもご参加

主催者からの閉会の言葉とあわせ、2日間の



イベントをスライドショーで振り返りました。



開催日:平成27年6月26日(金)~27日(土)(予定)

テーマ:「社会資源とネットワークの発信(共生)」

・地域ケア体制から見た暮らしの在り方(共生社会実現)

・障がい児から障がい者、高齢化と年代別支援 のはざ間の課題と実践報告

・ 当事者向けイベント (カラオケ、駅伝ほか)

・夕食交流会



をお待ちしています。 次回セミナーにも多くの皆様のご参 な気付きが見つかると思いますの セミナー参加を通じて、 きっと新た

を開催しましたが、 折返し地点となる第3回目のセミナ いと考えています。 一的な「暮らし」創りを応援して 今回、 様々な反省点を踏まえつ 引き続きホーム利用者の 開催目的を見失う

次 回 セ 3 0) 開 催 12 向 け

長野県社会福祉事業団は第2次長期

構想で、

この

駒

ナー」を5年間、

毎年開催することと ケ根高原ふくしセミ

ています。

事業所しりつう

各事業所それぞれの特徴と 現状・課題を紹介します。



● 小春日和(こはるびより)

~弁当の販売で地域とのつながりを~



小春日和は、26年度新たに『就 労継続支援B型(定員10人)』を 加え、『就労移行支援(定員12 人)』との多機能型事業所として 再スタートしました。

今年度は、一人ひとりの個性や能力に合わせて自立した生活を送るための就労の場として安定した工賃支給が行えるよう弁当の販売をスタート。

毎日約60~70個の弁当を作っています。

小春日和の弁当は、できるだけ地元の食材を 使用し、手作りで旬のおいしいものを提供でき るように努めています。

開設当初は予約販売のみでしたが、最近は近 隣にある美容室へ毎日お弁当を届けるなど、少

しずつですが地 域の中にある施



設として受け入れられつつあるように感じます。 今後は販路を広げ、一般家庭(主に高齢者向 け等)への配達などを展開していけるよう地域 に根付いた施設を目指して、皆が一丸となって 取り組んでいきたいと思います。 (仲田)

障がい者スポーツ 支援センター長野 「サンスポートながの」

より身近なサンアップルを目指して!念願の「サンスポートながの」開設!~



平成10年、長野県障がい者福祉センター「サンアップル」の開所からはじまり、15年に「サンスポート駒ヶ根」、18年に「サンスポートまつもと」、21年に「サンスポート佐久」とサテライトを開設し、県内において障がいのある方のスポーツ・運動の振興と環境作りに取り組んできました。

そして、平成26年6月!サンアップル内に、北信地域のスポーツ推進拠点として「サンスポートながの」を開設しました。

これまで、サンアップルとして実施してきた北信地域における出張スポーツ教室等をさらに強化していきます。

県下4地域にそれぞれの拠点となる、サンスポートが揃いました。

県内の障がいのあるる方のスポーツ環境をといっため、サンス ポートー丸となって活動をしていきます。皆様のご協力をお願い致します。(太田)



3 松本あさひ学園

~「あさひクラブ」で充実した毎日を~



いです。治療的観点から生活のルールなど見直すと同時に新たな支援プログラムを模索中です。

その一つが今年で3年目となる「あさひクラブ」で



す。今年は、サートクリーンでは、サートクリーンででは、サートクリーンででは、アウの中では、アウの中では、アウルーでは、サートクリーンでは、サートクリーンでは、サートクリーンでは、アウルー

年々増加しています。児童も「ハレの舞台」での発表 にやりがいを感じ、日々の練習に励んでいます。

先日(6/21)も同じ松本市内の松本ひよこの「ひよこ祭り」のオープニングに招待され、太鼓演奏を披露し、来場者から盛大な拍手と歓声をいただきました。 今後も数多くの要請に応えていきたいと思いますので遠慮なく声をかけてください。 (漆戸)

る利用者が増え、210人が生活介護

きなかったりと、既存の活動環境に馴 なかったり、椅子に座ることが我慢で なってしまうため、集団の中に居られ が、どうしても最大公約数的な内容と を編成して日中活動を提供しています

一方、グループホーム等から通所す

りました。

26年4月現在、

入所者は119人とな

者の地域生活移行が進んでおり、 として建設された西駒郷は、

平成

昭和43年に定員500人のコロニー

入所利用

人ひとりの適性に合わせたグループ

西駒郷の抱える課題から

サービスを利用しています。

西駒郷では環境にも配慮し、

利用者

や自立訓練、

就労継続支援等の日

ある1日の

「和出楽」の活動

10:00 集合(始まりの会)

出席者はまずは自分の写真を貼り、おやつ ーヒーをいただきながら活動内容の確 認をします。





10:15 活動開始

この日は雨降りでしたので、『体育館清掃』 を行いました。



和 10:00

9:00

11:00

通常の活動時間

昼食

通常の活動時間

15:00

出 楽

12:00 13:00 14:00

通常の活動に馴染めない利用者を対象 とした少人数グループによる活動

11:00 終わりの会

ら取り残されてしまう傾向にあります。 うした利用者の一部は支援の難しさか 染めない利用者がいます。そして、

番のある

動を

活動を通して(状況と展望

5

戒

駒

郷

和出楽(わでらく)』の取り組み

動時間が創られました。 少人数グループによる「和出楽」 を取ることの楽しさを経験し、「一日 加したり、 用者が一時でも楽しく思える活動に参 い」という想いから、平成26年4月に 日を有意義に過ごせるようにした こういった状況を打開するべく、 他人との関わりの中で行動 一の活

ゴミ拾い、体育館の掃除、 は通常の活動から離れ、 し等の作業を行っています。 メンバーの4人は、この活動時間帯 構内や地域の 空き缶つぶ

それぞれが役割(「出」番)を持って る「和出楽」の活動を始めてからは、 かった利用者も、 活動」という意味が込められています。 「『和』して『楽』しく『出』番のある 「通常の活動環境」に適応できな 「和出楽」という名前の由来は、 少人数グループによ

す。 動の幅を広げていきたいと思っていま とって居心地の良い居場所がつくら るようになることや、 意分野で「楽」 この活動を続けていく中で、 帰属意識(「和」の意識) しく過ごせるよう、 一人ひとりが得 が持て 自分に

活動しています。



取り組んでみて 和出楽」 支援員 友野由香利西駒郷駒ヶ根日中支援課

に

取り組んでいく中で本当は人と関わ が、実際に活動を始めてみるとス せる時間が少しずつ増えてくるなど ることが好きなことが分かりまし ムーズに取り組むことができまし しいのではないかと考えていました た。そして、「和出楽」の活動を始 てないように思われていましたが、 たちは支援員となかなか関わりを持 た。今まで、対象となる利用者さん たことによって、集団の中で過ご 当初、この「和出楽」の活動は難

いのか」という疑問も残りますの を中心とした現行の活動のままでよ きたいと思います。 の関わりをより一層感じられるよう う、できそうな活動があれば余暇的 の成果が現れています。 な内容も積極的に取り入れて、人と 「和出楽」を魅力ある活動にしてい 反面、活動内容については 今後は活動が単調にならないよ 「作業





ポ リユッ ル・ブリュ した。 1ヶ月 の また、 ジ 取り入れ方等について、 ス



IJ







この概念は障がい れています。 、者の表現に限

生 アー

(き、

なま)

の芸術

と言

ブリュ

ット

は

般

的

こだわり

の文化を生きる表現

 \neg

ツ

んで、 定するものではありませんが、 一本では社会福祉施設での制作が盛 (社福) 滋賀県社会福祉事業

ヌやフランスのパリで「アー いう言葉を使用して、 $\begin{array}{c}
2\\0\\1\\4
\end{array}$ いち早く を開催し好評を博しました。 年4月より ・
ア
ー ル スイスのロ ・ブリュット」 社 福) ル・ グ ́П] 1 ブ ザ ij ع Ĺ ッ 卜

作品 ポネ展」 そして、 (作家) この が存在します。 信州にも多くの アー ル ブリュッ

を長年務めた関孝之氏が、 訪問する中で出会った目を見張るような作品を中 して長野県障がい者福祉センター (長野市) ユット 第3回 原セミナー 月 27 日 が「豊かな暮らし 主催 約 .駒ヶ根高原ふくしセミナー 60 (金) 「出前アートワークショッ 点を駒ヶ ・実行委員会では、 から8月5日 根高原美術館にて展 県内の うづくり 社会福祉施 サン こ の に寄与すると考 火 0) アッ 特別企 Ź ア までの の講 設等を プル 示しま ル 画と

主催者 あいさつ

高原セミナー実行委員会 辰野 恒雄 委員長 (長野県社会福祉事業団理事長)

展

1

0

可

'能性や普段の暮ら

会場

ŀ

を ッ

招 ŀ 19

き

ア

1 深 にはアー

ル

に造詣の

いシン

7 月

日

 $\widehat{\pm}$

宗室に集まった約50人を前に

時間半にわたって意見交

私がこのような作品に出会ったのは50 年以上前になります。

私は大学時代を京都で過ごしまして、 すぐ隣の滋賀県、近江学園の糸賀先生 のところで夏休みを過ごしたりしたのです が、その近江学園や就職した児童施設 で何かを書くことに「こだわる」「繰り返 す」といった方達に出会いました。

私達がどんなに働きかけても、毎日毎 日、寸分違わず、何十でも何百でも書き 続けられた作品…、当時は「落書き」 と言われていたのですが、今では「アー ル・ブリュット」と呼ばれています。

誰かが教えたり、指導したりした作品 ではなく、本当に生の、その人自身が持 ち合わせているエネルギーで創り上げた 作品です。

今日はそんな生々しい世界のお話を聞 かせていただき、楽しい時間になれば良 いと思います。

シンポジスト (長野県知的障がい福祉協会会長)

飯田市にある明星学園、第二明星 学園の総園長をしています。

自閉症スペクトラム障がいの反復性・ 強迫性というのは、二次障害の場合も あります。苦しさの中から作品が生まれ ていると感じているので見ていて苦しくな ります。

専門家としたら「反復的・強迫的に 描かなくても良い暮らしを提供する」こ とができれば、それは適切な支援だと 思いますが、幸せになってコミュニケー ションがとれるようになると、今まで描い ていた面白い作品を描かなくなってしま うというのは「やや残念だ」という葛藤 もあります。

彼らの絵や行為が何かのメッセージ だったりすることがあるんですよね。

まあ、やっちゃ困ることもあるけれど、 許せることは許しながら「暮らし」を構 築していくことで、彼らの暮らしが表現 活動になっていくと思うし、僕らとも繋が ることができるのだと思います。

ギャラリートークの流れ-

- 1) 司会・シンポジスト自己紹介
- 企画展のねらい説明 (関氏)
- 企画展の感想(各氏)
- 4)「アール・ブリュット」の定義と魅力 (伊藤氏)
- 5) ギャラリーでの作品展示・販売等について (大谷氏)
- 6) 福祉現場に「表現活動」を取り入れる意味(宮下氏)
- 7)「アートの力」とは? (各氏)
- 8) これから期待すること(各氏)



大谷典子氏 (元麻布ギャラリー佐久平キュレ

私の勤めている画廊は、作品展 示や販売もしていますが、「地域貢

献」という視点で、積極的にアール・ ブリュット作品、障がい者の作品展 示等にも関わらせていただいていま

佐久地域にある3ヶ所の知的障 がいの福祉施設に月2回訪問して、 絵画等の制作のお手伝いをしてい ますが、私のギャラリーで作品を展 示したり、デザイナーさんにお願い してTシャツや手ぬぐい等を作って 販売したりしながら、作品の面白さ を感じています。

自分はアール・ブリュットに関わる なかで、どんどん楽しくなってきたの ですが、不謹慎な意味じゃなくて、 皆さんも面白がってくれればいいな と思います。

「アール・ブリュット」に関わりを持っ たきっかけは、アートパラリンピック (1998) やアートSO (スペシャルオリン ピックス) 展 (2005) で、信濃美術 館が作品展示やワークショップをお手 伝いしたからです。今回の企画展も 圧倒され楽しませていただきました。

(長野県信濃美術館学芸係長)

「現代アート」って難しいんですが、 「アール・ブリュット」は本当に根源的 で、分かりやすく、美術の偏見を解き 放つ作品、ジャンルかなと思います。

よく「芸術的価値」について問わ れますが、大切なことは「人の心が 動く」ということだと思います。心が 変わらないと暮らしも豊かになりませ

今日、「アートの力」って話があっ たのですが、社会が変わるような力に なっていけばいいなと思っています。

僕らの仲間は障がいのある人たちを 中心にアート活動のお手伝いをしようと いうことで「出前アートワークショップ」 で福祉施設や教育現場で楽しい時間を 提供したり、今回のような企画を手伝っ

(ながのアートミーティング代表)

たりしています。 「自閉症文化」という言葉があります。 よく福祉現場では彼らの生きづらさを問 題として焦点を当てがちだけど、今回 の企画展で彼らの鋭い感覚や独特の捉 え方を知ってもらいたいと思います。表 現自体が彼らの生き様なのだと思ってい

表現活動を通じて、ネットワークを構 築していけば、何かとてつもないことが できると思うので、一人ひとりががんばる んじゃなくて、今回のように繋がりを持ち ながら、素敵な長野県になればいいな と思います。

【長野ブロック】

かのちそう **①水内荘**

- 施設入所支援事業(定員40人)、生活介護事業(定員68人)
- 短期入所事業 (併設型6人)、相談支援事業 (一般·特定)

②みのちグループホームセンター ・共同生活援助事業 (13ホーム **定員71人**)

③長野圏域障害者総合支援センター歩楽里

- ·地域生活支援事業、相談支援事業(受託·一般·特定·障害児) 居宅介護事業(身体介護・家事援助) ほか
- サぐもびより 4人雲日和
- ·生活介護事業(定員14人)、就労継続支援B型事業(定員25人)

こはるびょり

就労移行支援事業(定員12人)、就労継続支援B型事業(定員10人)

⑥長野市地域活動支援センターこぶし

・地域活動支援センター事業(定員15人)

ブロック長 小宮山 紀道 (水内荘所長)

(2)(3)(19)ह 6 4 (5) (20) 24

長野I.C 更埴J.C.T

【障がい者福祉センターブロック】

⑩長野県障がい者福祉センタ **「サンアップル」**

障がい者のスポーツ・文化活動支援事業

②① 障がい者スポーツ支援センター長野 「サンスポートながの」

・サンアップルの北信サテライト事業所

②1 障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根 「サンスポート駒ヶ根」

サンアップルの南信サテライト事業所

② 障がい者スポーツ支援センター松本 「サンスポートまつもと」

・サンアップルの中信サテライト事業所

② 障がい者スポーツ支援センター佐久 「サンスポート佐久」

サンアップルの東信サテライト事業所 •••••

ブロック長 関口 一道

(障がい者福祉センター所長)

【松本ブロック】

⑦信濃学園

- 福祉型障害児施設入所事業(定員30人)
- 短期入所事業(空床型)、日中一時支援事業
- 施設入所支援事業·生活介護事業 ※18歳以上対象

⑧松本あさひ学園

情緒障害児短期治療施設(入所30人、通所5人)

⑨松本ひよこ

- · 生活介護事業(**定員21人**)
- 就労継続支援B型事業(定員18人)、相談支援 事業 (一般・特定・障害児)
- 共同生活援助事業 (4 木一厶定員23人)
- · 重度障害者等包括支援事業(**定員5人**※上記

佐藤 靖 ブロック長

(信濃学園所長)

副ブロック長 小島 健-(松本あさひ学園治療支援課長)

22 松本I.C 塩尻I.C 岡谷J.C.T 15)(16) 14 13 伊北LC 18)(10) 伊那I.C 17 12 11 21 駒ヶ根I.C

豊科I.C

8

9

7

【上伊那北部ブロック】

⑪ほっとグループホーム伊北

佐久I.C

共同生活援助事業(16ホーム 定員81人)、相談支援事

①ほっとグループホーム伊南

· 共同生活援助事業 (8ホーム 定員41人)

12ほっと居宅

小諸I.C

23

居宅介護事業(身体介助·家事援助·通院介助)、行動 援護、地域生活支援事業

③伊那ゆいま~る

生活介護事業(**定員15人**)、就労継続支援B型事業(定 員20人)、相談支援事業(特定)

(4) ほっとワークス・みのわ

就労支援B型事業(定員20人)、相談支援事業(特定)

⑤辰野町障がい者就労支援センター 「工房ぬくもり」

就労継続支援B型事業(定員20人)、相談支援事業(特定)

⑩辰野町地域活動支援センタ・

・地域活動支援センター事業(定員20人)

埋橋 行雄 ブロック長

(辰野町障がい者就労支援センター所長)

② 法人本部(事務局)

- 事業団が経営する各事業所の管理 運営における調整
- 介護福祉士等修学資金貸付事業

飯田IC

【上伊那南部ブロック】

(1)西駒郷

- (駒ヶ根支援事業部、宮田支援事業部 計)
- 施設入所支援事業(定員160人)、短期入所事業(空床型) 生活介護事業(定員165人)、自立訓練(生活訓練)事業(定員 (L OI
- · 就労継続支援A型事業(定員20人)
- · 就労継続支援B型事業(**定員60人**)、相談支援事業(一般·特定)

(18)上伊那圏域障害者総合支援センター [きらりあ]

- ・相談支援事業(受託・一般・特定・障害児)、障害児等療育支 援事業
- 発達障がいサポートマネージャー整備事業、障害者就業・生 活支援センター事業 ほか

滝 茂樹 (西駒郷管理部長) ブロック長 原 雅章(西駒郷所長) 副ブロック長

平成26年度 事業計画・収支予算書

【管理部門】

1 長野県西駒郷及び長野県障がい者福祉センターの5年間の指定管理者指定

平成26年度以降5年間の指定管理者として長野県西駒郷、長野県障がい者福祉センター(長野県障がい者スポーツ協会と共同申請)とも再指定されました。これまで構築してきた様々なノウハウを基盤に、提案した事業計画に基づき、質の高いサービス提供に努めます。

2 勤務評価制度における評価表を2区分から3区分へ改正

新たにリーダーとしての役割を持つ「主任・専門員・係長」クラスの勤務評価を導入し、従来の2区分の評価表(管理職、管理職以外)から3区分(管理職、主任・専門員・係長クラス、主事・支援員クラス)とします。

3 各ブロックにおける新たな事業の拡大及び施設整備

県内各ブロックの事業所において、利用者の年齢や障がいの状況に応じて支援できるよう、高齢者向けの分場設置や 重度・自閉症対応型グループホーム2棟の開設、居室の個室化等を実施するとともに、長期構想に基づく新たな事業所 の設置についても検討を進めます。

【支援部門】

1 相談支援体制の充実と発達障がい児者等への支援技術のスキルアップ

発達障がい児者特別研修、心理・支援員職員研修、相談支援専門員研修等を実施し、それぞれの分野において各ブロックまたは各事業所のリーダー的役割を担っていく人材の育成を目指します。

2 新規採用職員27人の各事業所配属・定着

松本ブロックに11人、上伊那北部ブロックに2人、上伊那南部ブロックに14人を新たに配属し、それぞれが各事業所・ブロックに慣れ、定着できるよう努めます。

3 「第3回」駒ヶ根高原ふくしセミナー」の開催

「暮らしの工夫から育つ豊かな生活の提案」をテーマに当事者向けの様々なイベントを開催するほか、ベニシア・スタンリー・スミス氏の基調講演、発達障がいのシンポジウム等を開催します。また特別企画として「アール・ブリュット」を発信するための作品展も開催します。

4 「信州自然的暮らし」の創造計画推進

利用者の暮らしを、単なる保護的・受身的暮らしに置くのではなく、地域住民等と関係を結び、その地域風土の中で自己実現できる積極的な暮らし創りを考えるため、各事業所において「信州自然的暮らし」のイメージを取り入れたプログラムを計画し取り組みます。

平成26年度 長野県社会福祉事業団収支予算書

(単位:千円)

	科 目 本年度予算額 前年度予算額 増 減		科 目		本年度予算額	前年度予算額	増 減				
事業活動による収支		児童福祉事業収入	195,552	203,840	△ 8,288		Ц	施設整備等補助金収入	38,000	6,870	31,130
		就労支援事業収入	94,826	92,862	1,964	施設整	1,	設備資金借入金収入	71,287	7,220	64,067
		障害福祉サービス等事業収入	2,352,706	2,447,633	△ 94,927	設整	2	施設整備等収入計(4)	109,287	14,090	95,197
	収	その他の事業収入	322,015	305,640	16,375	備等		設備資金借入金元金償還支出	20,030	15,542	4,488
	入	経常経費寄附金収入	100	50	50	によ	3	固定資産取得支出	275,644	42,700	232,944
		受取利息配当金収入	1,532	2,430	△ 898	る収	出	その他の施設整備等による支出	0	3,239	△ 3,239
		その他の収入	24,263	30,066	△ 5,803	芰		施設整備等支出計(5)	295,674	61,481	234,193
	i 🗀	事業活動収入計(1)	2,990,994	3,082,521	△ 91,527		施	設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 186,387	△ 47,391	△ 138,996
		人件費支出	1,988,529	2,045,319	△ 56,790	_		積立資産取崩収入	180,512	134,297	46,215
		事業費支出	526,980	514,000	12,980	1112	,		100 510	104 007	40.015
	[] 支	事務費支出	329,667	377,790	△ 48,123	の活	Ľ	その他の活動収入計(7)	180,512	134,297	46,215
		就労支援事業支出	94,826	92,285	2,541	の活動に	3	積立資産支出	36,379	33,055	3,324
	"	支払利息支出	2,634	2,113	521	による	出	その他の活動支出計(8)	36.379	33,055	3,324
		その他の支出	1,119	620	499	収	H		,		
		事業活動支出計(2)	2,943,755	3,032,127	△ 88,372	支	7	の他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	144,133	101,242	42,891
	事業	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 47,239 50,394 △ 3,155					予備費支出(10)		0	0	0
								金収支差額合計 3)+(6)+(9)-(10)	4,985	104,245	△ 99,260
							前期末支払資金残高(12)		512,566	548,873	△ 36,307
							当期末支払資金残高(11)+(12)		517,551	653,118	△ 135,567

平成25年度 事業報告

ほっとワークスグループホーム・ケアホーム ヤンターの事業所分轄

細やかで質の高い支援や責任の明確化、機動力などの更なる強化・充実 を図るため、「ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンター」を 3事業所に分轄し、ホーム利用者等の支援にあたりました。

変更前	変更後
・ほっとワークスグループホーム・ケアホームセンター(24ホーム運営、居宅介護等)	・ほっとグループホーム伊北(16ホーム運営) ・ほっとグループホーム伊南(8ホーム運営) ・ほっと居宅(居宅介護等)



平成26年度末までにサービス等利用計画の策定を進めるため、新たに5 事業所で特定相談支援事業を立ち上げ、合計10事業所で相談支援事業を行 うとともに、事業団独自の相談支援専門員研修を開催するなど、人材育成 に努めました。

「信州自然的暮らし」の取り組み

「長野県社会福祉事業団第2次長期構想」で掲げる「信州自然的暮らし」 を各事業所で実践しました。

	項目	具体的プログラム			
自然を活かした暮らし		自然散策、山菜採り、動物飼育			
農業的暮ら	U	花壇づくり、家庭菜園での野菜作り			
生活習慣·信	云統を取り入れた暮らし	地域行事参加、郷土食の摂取			
エコな暮ら	, U	自然エネルギーの活用			

4 情報発信事業の充実

事業団の情報発信事業として「広報指針策定の検討」「事業団だよりの 発行」「第2回駒ヶ根高原ふくしセミナーの開催」「事業団広報ビデオの活 用」「ホームページの充実」の5事業を行いました。なお新たに5事業所 でホームページを立ち上げたことで、事業団全事業所でホームページを開 設することができました。

5 提供するサービスの質の向上

利用者本位のサービスを提供するため、各事業所でイベントや旅行を企 画したほか、太鼓や演劇等のサークルを立ち上げ、生きがいや楽しみを 持って生活できるよう余暇活動の充実に努めました。

水内荘が中心となり活動している長野ブロックでは、演劇サークル 「空」を立ち上げ、11月に公演を行いました。



第1回 相談支援専門員研修(25人参加)



干し柿作り(みのちグループホームセンタ



(松本ひよこ)



秋の創作活動(辰野町地域活動支援センタ



演劇『朱鷺』公演の様子

平成25年度 収支決算書(法人合算)

資金収支計算書 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

		科目	予算(A)	決算(B)	差異 (A)-(B)
		児童福祉事業収入	204,086,000	204,502,795	△ 416,795
		就労支援事業収入	94,508,000		
		障害福祉サービス等事業収入		2,299,360,767	152,831,233
	収入	その他の事業収入	307,718,000	304,246,301	3,471,699
	入	経常経費寄附金収入	2,080,000	2,331,936	△ 251,936
事		受取利息配当金収入	2,455,000	2,737,382	△ 282.382
業		その他の収入	28,200,000	28,680,429	△ 480,429
事業活動による収支		事業活動収入計(1)	3.091,239,000	2,930,154,763	
12		人件費支出	2,030,019,000		76,512,032
る		事業費支出	535,298,000		24,996,860
支		事務費支出	384,442,000	353,119,175	31,322,825
	支出	就労支援事業支出	93,931,000	88,081,258	5.849.742
	ш	支払利息支出	2,375,000	2,297,298	77.702
		その他の支出	1,541,000	1,506,300	34,700
		事業活動支出計(2)	3,047,606,000	2,908,812,139	138.793.861
	事業活	活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	43,633,000	21,342,624	22,290,376
	収入	施設整備等補助金収入	12,677,000	12,535,000	142,000
施設		施設整備等寄附金収入	3.027.000	3,447,000	△ 420,000
整		設備資金借入金収入	10,220,000	6,462,950	3,757,050
施設整備等による収支		施設整備等収入計(4)	25,924,000	22,444,950	3,479,050
ارَ	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,933,000	17,683,156	249.844
8		固定資産取得支出	109,542,000	61,236,964	48,305,036
支		施設整備等支出計(5)	127,475,000	78,920,120	48,554,880
	施設整	備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 101,551,000	△ 56,475,170	△ 45.075.830
収そ	_	長期貸付金回収収入	8,787,000	8,786,306	694
文の他	収入	積立資産取崩収入	203.080.000	155,985,303	47.094.697
유		その他の活動収入計(7)	211,867,000	164,771,609	47,095,391
動	支出	積立資産支出	248,667,000	241,567,167	7.099.833
他の活動によ	出	その他の活動支出計(8)	248,667,000	241,567,167	7.099.833
る	その他の	D活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 36,800,000	△ 76,795,558	39,995,558
予備数	費支出(10))	0	0	0
当期資	金収支差	額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 94,718,000	△ 111,928,104	17,210,104
前期を	末支払資金	金残高(12)	568,399,000	507,295,774	61,103,226
当期を	末支払資金	金残高(11)+(12)	473,681,000	395,367,670	78,313,330

事業活動収支計算書 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

ND.		\/ / / / / / / / / / / / / / / / / / / 	****** (0)	IM34 (A) (D)	
		科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	
		児童福祉事業収益	204,502,795		△ 3,287,587
		就労支援事業収益	88,295,153	83,533,233	4.761.920
		障害福祉サービス等事業収益	2,299,336,167	2,445,388,135	△ 146,051,968
	収益	その他の事業収益	304,270,901	372,968,485	△ 68,697,584
		経常経費寄附金収益	2,331,936	8,906,000	△ 6,574,064
1 7		その他の収益	2,166,235	120,000	2,046,235
サービス活動増減の部		サービス活動収益計(1)	2,900,903,187	3,118,706,235	△ 217,803,048
活		人件費	1,910,612,790		1,789,992
動		事業費	435,699,312		
減		事務費	353,119,175	412,349,617	△ 59,230,442
部	費用	就労支援事業費用	87,835,686	81,375,950	6,459,736
LID	用	減価償却費	129,262,572	124,623,367	4,639,205
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 47.877.081	△ 8,885,454	△ 38,991,627
		その他の費用	120,000	120,000	0
		サービス活動費用計(2)	2.868.772.454	2,900,593,273	△ 31,820,819
	+	ナービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	32,130,733	218,112,962	△ 185,982,229
		受取利息配当金収益	2,737,382	4,023,634	△ 1,286,252
ţ	収益	その他のサービス活動外収益	26,514,194	33,638,894	△ 7,124,700
増し		サービス活動外収益計(4)	29,251,576	37,662,528	△ 8,410,952
増減の部		支払利息	2,281,434	2,289,106	△ 7.672
部覇	費用	その他のサービス活動外費用	1,386,300	0	1,386,300
外		サービス活動外費用計(5)	3,667,734	2,289,106	1,378,628
	サ	ービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	25,583,842	35,373,422	△ 9,789,580
	. ;	経常増減差額(7)=(3)+(6)	57.714.575	253,486,384	△ 195,771,809
	ᄱ	施設整備等補助金収益	12,535,000	75,321,000	△ 62,786,000
#+	益	施設整備等寄附金収益	3,447,000	0	3,447,000
特別増減の部		特別収益計(8)	15,982,000	75,321,000	△ 59,339,000
増		基本金組入額	0	16,000,000	△ 16,000,000
<i>n</i>	費用	固定資産売却損·処分損	1	73,950	△ 73,949
部	用	国庫補助金等特別積立金積立額	12,535,000	153,558,250	△ 141,023,250
		特別費用計(9)	12,535,001	169,632,200	△ 157,097,199
	特別	引増減差額(10)=(8)-(9)	3,446,999	△ 94,311,200	97,758,199
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	61.161.574	159,175,184	△ 98,013,610
	前	明繰越活動増減差額(12)	1,606,707,057	1,475,388,282	131,318,775
繰	当	期末繰越活動増減差(13)=(11)+(12)	1,667,868,631	1,634,563,466	33,305,165
活	基	本金取崩額(14)	0	0	0
動	そ(の他の積立金取崩額(15)	87,973,720	148,557,300	△ 60,583,580
繰越活動増減差	そ(の他の積立金積立額(16)	216,449,762	383,543,833	△ 167,094,071
差		明繰越活動増減差額 7)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,539,392,589	1,399,576,933	139,815,656

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

ji	負債の部						
科目名	当年度末	前年度末	増減	科目名	当年度末	前年度末	増減
流動資産	877.047.696	843,746,576	33,301,120	流動負債	480,637,197	335,710,893	144,926,304
現金預金	518,382,124	399,703,575	118,678,549	短期運営資金借入金	45,000,000	0	45,000,000
事業未収金	342,629,626	382,710,619	△ 40,080,993	事業未払金	426,581,199	309,116,830	117,464,369
未収金	12,009	33,287,238	△ 33,275,229	その他の未払金	0	17,713,750	△ 17,713,750
未収補助金	0	19,000,000	△ 19,000,000	預り金	2,275,742	5,489,032	△ 3,213,290
貯蔵品	142,970	142,298	672	職員預り金	4,874,663	0	4,874,663
原材料	1,042,829	739,909	302,920	前受金	1,871,493	3,391,281	△ 1,519,788
立替金	12,767,913	5,288,804	7,479,109	仮受金	34,100	0	34,100
前払金	760,600	427,340	333,260				
前払費用	294,730	0	294,730				
仮払金	1,014,895	2,446,793	△ 1,431,898				
固定資産	3,355,120,021	3,272,502,812	82,617,209	固定負債	583,795,468	640.342.936	△ 56,547,468
基本財産	873.600.483	919,342,436	△ 45,741,953	設備資金借入金	155,047,532	168,003,602	△ 12,956,070
土地	35,015,898	35,015,898	0	退職給付引当金	333,756,130	377,802,025	△ 44,045,895
建物	823,584,585	869,326,538	△ 45,741,953	全事協退職年金共済引当金	94,991,806	94.537.309	454.497
定期預金	4,500	4,500	0				
投資有価証券	14,995,500	14,995,500	0				
その他の固定資産	2,481,519,538	2,353,160,376	128,359,162				
建物	22,786,025	25,702,132	△ 2,916,107				
構築物	8,586,757	5.407.120	3,179,637				
機械及び装置	17,420,827	17,687,810	△ 266,983				
車輌運搬具	39,178,335	41,666,848	△ 2,488,513				
器具及び備品	34,217,248	28.893.239	5,324,009	負債の部合計	1.064.432.665	976.053.829	88,378,836
権利	2,683,542	448.404	2,235,138	純	資産の部		
ソフトウェア	1,578,310	3,595,136	△ 2,016,826	基本金	49,400,000	49,400,000	0
長期貸付金	519.711.421	453,953,247	65,758,174	国庫補助金等特別積立金	507,526,363	542.868.444	△ 35,342,081
退職給付引当資産	333,756,130	377,802,025	△ 44,045,895	その他の積立金	1,071,416,100	942,940,058	128,476,042
貸付原資積立資産	358,712,527	421,609,937	△ 62,897,410	貸付原資積立金	358,712,527	421,609,937	△ 62,897,410
人件費積立資産	253,337,504	180,567,948	72,769,556	人件費積立金	253,337,504	180,567,948	72,769,556
施設整備等積立資産	457,604,026	340,762,173	116,841,853	施設整備等積立金	457,604,026	340,762,173	116,841,853
全事協退職年金共済預け金資産	94,991,806	94,537,309	454.497	工賃変動額積立金	576,896	0	576.896
長期前払費用	647,260	557,600	89,660	設備等整備積立金	1,185,147	0	1,185,147
その他の固定資産	334,545,777	359,969,448	△ 25,423,671	次期繰越活動増減差額	1,539,392,589	1,606,707,057	△ 67.314.468
工賃変動額積立資産	576,896	0	576,896	(うち当期活動増減差額)	61,161,574	306,251,368	△ 245.089.794
設備等整備積立資産	1,185,147	0	1,185,147	純資産の部合計	3,167,735,052	3,141,915,559	25,819,493
資産の部合計	4,232,167,717	4,116,249,388	115,918,329	負債及び純資産の部合計	4,232,167,717	4,117,969,388	114,198,329

発行日:平成26年8月31日

印刷:第一企画株式会社

松本あさひ学園 援員/市村明美(支援課)、折井幸雄 ·有山礼子(同)、支援員/岡村美咲 (平成26年4月1日付) 栄養士兼主事/山口晶子 主事兼支援員/金井美奈

(総務課)、支

看護師

西駒郷 看護師/森本綾子(総務課)、支援員/松 **辰野町障害者就労支援センター** 支援員/奈須楓 ほっとワークス・みのわ 支援員/柘植健司 松本ひよこ
支援員/百瀬隆裕 同)、宮坂佳央梨(同)、宮﨑里美(同)

課)、支援員/宮坂聡史(治療支援課)、中島優香

課)、江田翠(同)、伊藤翔(同)、原千春(さくら 支援課)、有賀和久(同)、加藤未有(駒ヶ根日中支 竹倉文恵(同)、飯森悠太(ひまわり支援 (地域移行推進課)、伊澤大介(あすなろ支援 櫻井志帆 (同)、藥袋剛

(平成26年4月1日付)

事務局長/塩沢総夫 (西駒郷駒ヶ根支援事

みのちグループホームセンター 所長/小宮山紀道 **援員)、支援員/佐藤晶子(西駒郷支援員)、縵澤知** 貝)、西郷泰久(みのちグループホームセンター支 士)、主任支援員/冨田久未子(八雲日和主任支援 援課長兼栄養士/板倉吉子(水内荘専門幹兼栄養 (西駒郷支援員)、清水猛夫 (八雲日和支援員) 所長/小宮山紀道(水内荘支援課長)、支

宮山紀道(兼)、支援員/河原﨑ひかる(兼)、今井 (兼)、支援員/棚田英孝 (水内荘支援員) 反野圏域障害者総合支援センター歩楽里

長野市地域活動支援センターこぶし
所長/小宮山 慎一 (水内荘主任支援員)、支援員/河原﨑ひかる 态帆(水内荘支援員)、東晋平(兼) 上伊那圏域障害者総合支援センター支援員) 所長/伊藤敏(兼)、主任支援員/伊東

(ほっとグループホーム伊北支援員) 支援員/鈴木若菜(信濃学園支援 心理治療員/上杉晴樹 (西駒郷支 業部長/矢花尚利、看護師/一志寿美江 他職との兼務職員 ひまわり支援課長/今村信康、宮田支援事

第二係長)、支援員/北澤直人(サンアップル主

専門幹兼支援第二係長/小野沢真(支援

信濃学園 栄養士兼主事/二木晴久

専門員/柳沢敏博

(平成26年3月31日付)

辰野町障がい者就労支援センター 所長/埋橋行雄

辰野町地域活動支援センター 所長/埋橋行雄

ほっとグループホーム伊南 支援員/宮﨑大樹(西 ほっとグループホーム伊北 (西駒郷支援員)、支援員/宮澤澄恵(西駒郷支援員) (ほっとグループホーム伊南支援員)、主事/茂木誠ほっとグループホーム伊北 主任支援員/小松聖司

伊那ゆいま~る 支援員/矢島慶一(西駒郷支援 辰野町障がい者就労支援センター 所長/埋橋行雄

辰野町地域活動支援センター 所長/埋橋行雄

田琢也(西駒郷自活訓練係長)、わーく宮田課長 子 (西駒郷まつば支援課長)、まつば支援係長/濱 駒係長/藤原健(兼)、宮田支援事業部長/森岡恵 支援課係長/藤原健(西駒郷庶務係長)、わーく西 援員/小河干折 まわり支援課長/市瀬元彦(事務局企画課長)、 駒ヶ根支援事業部長/矢花尚利 (松本ひよこ支援員)、駒ヶ根日中 すひ

サンアップル 主任/新井孝尚(水内荘支援員)、 ル指導員 サンスポート佐久 指導員/三浦雄高(サンスポート佐久指導員) 指導員/矢崎萌斗(サンアップ

(平成26年3月31日付)

児童相談所へ)、男子ユニット係長/増沢広志(波 総合リハビリテーションセンターへ) 神保健福祉センターへ)、支援員/清野恵美子(県 田学院へ)、ホームユニット係長/山口博幸(県精 松本あさひ学園 専門幹兼心理治療係長/小口浩司 務所へ)、支援員/岡村敏之(波田学院へ) 所へ)、主任支援員/湯澤ゆかり(伊那保健福祉事 、支援第一係長/長田基佳(大町保健福祉事務 信濃学園 (松本児童相談所へ)、心理治療員/疋田泰規(諏訪 所長/合木康典(県公衆衛生専門学校

レゼント



「八雲日和 (やぐもびより) | 支援員 玉井 靖人からのメッセージ



八雲日和の「お八季」は、「八 雲うどん」と並んで多くの皆様 から大変ご好評をいただいてい る主力商品です。地元で収穫し た旬の野菜を味噌やしょう油で 味付けし、信州の地粉「更科の めぐみ」で作った皮で包み、蒸

した昔ながらの家庭のおやきです。

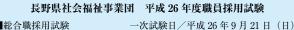
珍しいところでは、「トマト・玉ねぎ・紫イモ」等を生 地や具材に使用した季節限定商品もあります。

お陰様で、お八季の売り上げは順調に伸びており、日々 製造や販売に携わっている利用者さんの励みとなっていま す。八雲日和のお八季を、ぜひ一度ご賞味ください。

事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等 について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のう えメールまたは郵便はがきにて法人本部 (事務局) までお寄せ下

10月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で、「八雲日和」 「お八季」を5名の方にプレゼントいたします。

なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。 (プレゼントの発送は11月頃を予定しています)



職員採用のお知らせ

一次試験日/平成26年9月28日(日) 般職 (看護師) 採用試験 ※詳細は当事業団ホームページからご確認ください。

職員提案制度に

事業団では職員の積極的な考察、創意工夫を奨励するため提案制 度を設けていますが、この度、中村勘二主任(事務局)が「アール・ブ リュットミュージアム信州の設置・運営」について提案し、 6月に理事 長表彰を受けました。

この提案は、昨今の国や県の動向も 事業団で美術館を設置・運営す るといった内容で、審査会は、「美術館 の設置・運営は時期尚早である」と判断 しましたが、今後、事業団として芸術活 動支援を推進していく契機となりました。



平成26年6月に厚生労働省の検討会が社会福祉法人に対し「公益活動の推進」や 「法人運営の透明性」を求める改革案をまとめました。

こういった中、長野県社会福祉事業団は一社会福祉法人としての役割を果たして いくことはもちろん、県の外郭団体として誕生した経過も踏まえ、新たな役割につ いても追求していく必要があると考えます。

本紙7 Pの「つれづれ福祉」に掲載した「信州のアール・ブリュット展」 の取り組みは、複数法人間等による連携や地域貢献、そして生活介護事業等におけ る重度障がい者支援の新たなヒントがある気がしてなりません。

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人 長野県社会福祉事業団

長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5 F 〒380-0928

tel: 026-228-0337 fax: 026-228-0310

URL: http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/